

時間外勤務手当が 年々増えるのは問題です

職員数の方は。佐野 これも昨年の第2回定例議会が私が質問し、

視野に入れるべきではないか。超勤手当が平均して時給3000円程度になるのも民間では考えられない。費用対効果の面からも問題です。公務員の手当といえば、最近大阪市の「不適切な手当」が話題になりました。中野区の場合はほど

うでしようか。佐野 この問題も昨年11月の定例会で追及しました。その結果、寒冷地手当は廃止の方向で、特殊勤務手当も、区民から見るとその特殊性や困難性が是認できるもののみ支給するよう見直しを図られています。

区長は2870人(16年度)から10カ年計画で2000人程度まで削減したいと答えました。ただ17年度は一般職員数が減少したものの、任期付職員(短時間・育休)を採用することにより、全体の職員数は増えます。2000人規模に向けて削減するのは良いとして、問題は時間外勤務手当が年々増加し、16年度は遂に5億円を超えたことです。人数が減った分、仕事が増えるのもある程度やむを得ませんが、各職場でワークシェアリング

年度	人件費比率	歳出全体	人件費
平成16年度	30%	899	272
平成15年度	34%	839	289
平成14年度	32%	931	299
平成13年度	32%	944	305

年度	職員数(4月1日現在)
平成17年度	2,783
平成16年度	2,870
平成15年度	2,988
平成14年度	3,082

年度	総支給額
平成16年度	501,965,183
平成15年度	492,732,725
平成14年度	466,830,446
平成13年度	449,207,053

16年度は5月25日現在の決算推定値

丸の内線バリアフリー化は 私の念願でした

初当選してまだ日も浅い議会、東京メトロ(丸の内線)のバリアフリー化促進を取り上げました。この問題で東京メトロの上野本社を訪れ、中野新橋・中野野上各駅のバリアフリー化を要請したのが平成14年の7月でした。議員になるのが翌15年の5月ですから、地下鉄丸の内線のバリアフリー化には年季が入っています。佐野 上野本社にはこれまで何度も足を運びました。この7月11日に確認をとるべく訪れました。その結果、防災上必要な2方向避難口と排煙設備

については全対象駅で実施、避難口の用地確保に全力を挙げていくとのことでした。また中野新橋駅は18年度中に設計を完了し、上部の階段にエスカレーターを設置。20年の完成を目指し駅と歩道の段差も解消。新中野駅は19年2月の完成を目指す。下りホーム杉山公園口にエレベーター設置予定が消防の関係上掘削部分が必要となり当初より完成が遅れた。すでに認可も下りスペースも確保、近々に作業に入る予定。中野富士見町駅は駅舎改修前にエレベーター設置を検討中。中野坂上

駅についても同様に防災上必要な2方向避難口の確保に向けて検討しているとのことでした。地元の期待も大きいと思います。佐野 バリアフリー化の実現により、住民の利便性が増せば、街は一層活性化し発展するのではないかという思いが原点にあり、真剣に取組んでいきます。最初の議会でも早期実現を図るよう区として

(当時)に申し入れるべきだ」と質問したのに対し、区側は「営団は平成25年までに整備を進める10カ年計画を進行中だ」

2方向避難口と排煙設備



2年間の議員活動を熱っぽく語った

未回収の滞納区民税を うやむやにはできません

歳出の是正と合わせて、歳入の重要性も大切だとし、議会で取り上げた区民税の未集金(滞納繰越分)問題も区民の関心を呼びました。佐野 15年度の滞納繰越分約28億7400万円の回収できたのはわずか18%(5億1800万円)で、残りの約23億5500万円が未回収のままです。額の大きさもさることながら、翌年に繰越され、その結果、財政を圧迫し続け、いずれ時効になってしまうことが問題です。私の議会での質問が契機となっ

たのか、今年4月16日の第4回庁議で、「収入未済が生じている現状を調査・検討し、適切な未回収対策を推進する」との報告があり、区は未集金対策連絡会議(仮称)を設けて専任を置くことを決めました。4月9日に収入未済状況、未納者(未納世帯)単位の未納重複状況等調査、10月来年度3月に未集金対策の検討・提案を行うことになっています。まずは一歩前進です。

最後にこれまで、区民の情報格差の是正を訴え続けて来た、CNTN5chの問題はどうなっているのでしょうか。佐野 中野区約16万世帯の約10%にあたる1万6000世帯が大規模の電障施設のため未だに区民チャネルが映りません。目下、一部の電障地域にもニター調査を実施しましたが、結論が出る段階に至っていません。議会放映と合わせて今年度の区の新規事業にテレビ中野を活用して各

今年度の新規事業として、小中学校体育館の窓ガラス飛散・落下防止工事をを行います。区は地震対策は今年や緊急の最重要課題といっても過言ではありません。私も議会での質問の度に取上げてきました。現在、都では環6の内側をセンターコアと称し大幅に規制緩和をしていますが、中野区においても都に働きかけ、環7までもセンターコアに繰り入れて高度利用を推進すべきだというのが私の持論です。区は「検討する」と答えるだけでなかなか実行まで進みません。



7月11日 東京メトロ上野本社で、広報部長・技術担当者と話し合う佐野議員(右)

4クラスの地震が発生し、都内でも最大震度3を記録しました。区の地震対策は、

家庭のテレビ画面5チャネルの一部に気象警報、河川情報を表示し、区民に災害情報を提供するとされていますが、この地域情報格差の是正こそが先決ではないでしょうか。私は初めての質問の時、冒頭、「区政の要諦は区民生活の安心、安全、安定にある」と述べました。今もその気持ちに変わりありません。これからも、たとえ一歩であっても、区民の皆さまのために尽くす覚悟であります。

「安心・安全・安定」です

桃園小学校をはじめ区内全校でも窓ガラス飛散・落下防止工事が行われます